



みなみの風

【発行日】

令和7年3月25日

【発行者】学校長



《学校教育目標》 自ら学び、心豊かに、たくましく生きる子の育成

重点目標「生き生きわくわく」～言葉を大切に、豊かな関わり・確かなつながりをととして～

今年度最後の登校日を迎え、無事、修了証(あゆみ)を各学年の代表児童に渡すことができました。楽しいことばかりではなく、苦しいことや悲しいこともあったかと思いますが、それらを乗り越え今日を迎えることができたのも、保護者の方々のご支援のおかげです。本当にありがとうございました。

明日から、春休み(教職員については学年末・学年始休業)になります。各学年からのしおりにありましており、ゆっくりするのも必要ですが、気持ちを切り替えて進級の準備をする大切な期間となります。体調管理はもとより、交通安全等には十分気を付けて過ごすよう、お子様にお伝えください。また、本校への連絡につきましては、しおりに記載されておりますので、改めてご確認ください。

それでは、4月7日(月)の着任式・始業式をお待ちしています。一年間、ありがとうございました。

第15回卒業証書授与式を挙行(3月21日)

温かな日差しが降り注ぐ中、無事卒業証書授与式が行われ、卒業生97名が巣立っていきました。年間をととして様々な学校行事がありますが、この卒業証書授与式は最も重要な位置付けとなります。当日まで、礼儀作法、歌や呼びかけの練習を重ね、とても立派な姿を当日は見せてくれました。とくに、証書授与時の担任の呼名後の返事には、ここに自分がいるということを強い思いで示してくれたと感じました。

当日の在校生の参加は、会場の関係もあり5年生のみとさせていただきますが、1～4年生の想いも乗せて感謝の気持ちを伝えてくれたことと思います。4年生が会場の花を、時間をかけて世話をするなどの準備をはじめ、各学年が自分たちのすべきことを考えていました。

当日の様子はビデオに記録として残すのみとし、写真に収めておりませんので、会場の写真を掲載します。ご容赦ください。それでは卒業生の皆さん、お元気で…。そして、開成南小はまた新たなステージに向け、最初の一步を踏み出します。



本日、この3月をもって本校を離任される教職員の方々との離任式を行いました。詳細については、24日付けの文書にあるとおりです。

勤務年数に違いはあれど、本校の子どもたちのためにご尽力いただきました。それぞれに次の学校等において本校での経験を生かしてご活躍くだされば幸いです。本当にありがとうございました！

子育てアラカルト⑨ ～心をつかむ～

過日、幼稚園教育に係るある冊子を読んでいたところ、「手をかけて 手が離れたら、目をかけて 目がはなれたら、心はなすな」という言葉が飛び込んできました。これは言葉のとおり、子どもの成長過程における親の立ち位置を示しているものとなります。この意味を、改めて考えてみました。

私は、先生たちに、子どもたちのことを話題にしたり評価をしたりする際に、「～ができない」という表現を使わぬよう伝えています。そもそも子どもという存在は、何もできない状態でこの世に命を受け、様々な経験をとおして知識・技能を得たり、他者と関わる中で喜怒哀楽を学ぶことで心が耕されたりします。その成長過程にある子どもたちが「できない」ことがあるのは当たり前で、「だからどのような指導・支援が効果的か」を考えるのが教育そのものだと考えます。

冒頭の言葉は、まずは世の中の道理を、大人が有している経験や自らの背中で丁寧に伝え、その後はもともと知的好奇心や知的探究心をもっている子どもたちの背中を押したり環境を整えたりすることが必要なのでしょう。そして、自律(自立)し、子どもたちのことが見えにくくなってきたとしても、大人からの愛情は不変であることを伝えたいものです。子どもたちは、私たち大人にとって「宝」そのものです。